

どんぐり村の こみ・すく通信

令和8年9月10日発行

令和8年度 第12号

更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

学校運営協議会及びコミュニティ・スクール委員会合同研修会

8月27日(木)、村内各小中学校の学校運営委員会及びCS委員会との合同研修会を社会福祉センター大ホールで開催し、二つのテーマについて、グループワークを行いました。

前半【小・中一貫した教育に向けた協議と学校施設などの環境整備などの環境整備に対する意見交換】

7月3日に豊頃小・中学校を訪問した視察研修の報告後、現在の中学校舎・小中一貫教育の説明をもとに、KJ法(たくさんの意見を付箋に書き出し、似たもの同士をグループにまとめて整理する思考の手法)で、長寿命化(定期的な点検や修理・交換、性能上の改修を行い、以後30年は使用すること)と移転改築(建物を取り壊し、ほぼ同じ用途・規模等のものをもう一度立て直すこと)のメリット・デメリットを協議しました。



【参加者の感想】●KJ法で意見交換をして、貴重な時間となりました。子どもたちの学びも今回のように意見を出し合う機会が多くされていくといいなと思いました。●上更別の将来についても考える機会となりました。●小・中一貫に対して、地域の方等の考えが交流できたので有意義でした。

後半【更別村CSアクションプランの見直しについての協議】

今から6年前、各学校運営協議会・CS委員会、各児童会・生徒会の熟議によって策定された『アクションプラン』。4月に行った会議で「5年前に策定されたものであり、今の大人や子どもがこれを見てどう思うのかを確認してもいいのでは。」とのご意見をいただき、今回の合同研修会で協議しました。

【参加者の感想】●アクションプランも作って終わりではなく、見直しをしていくことは大切だと思いました。今後も何年かおきに機会を設けるといいと思います。●本日の参加者だけでも多くの意見が出ているので、より多くの住民(子ども含)の意見を吸い上げていただきたいと思います。



付箋に自分の意見を書く



班内で共有する



付箋をグループ分けする



全体に発表する